

日蓮大聖人御書全集

いちだいあくたいいじごしよ

一大悪対治御書

新版
2154

いちだいいくたいじごしよ

一大悪対治御書

じんにく く

とうしんむよう

いま

なか

かんもん

と

人肉を食らわざれば、投身無用なり。今その中の勘文を取

ほけきよう

じつそう

いちどう

ぞん

るに、法華経の実相は一同にこれを存ずといえども、その

ぎようぎ

とき

したが

ふじよう

ゆえ

るつう

しよほん

しなじな

行儀、時に随って不定なるべし。故に、流通の諸品、品々

ぶつぼさつ

いぎよう

とき

したが

ゆえ

なり。仏菩薩の意樂、時に随う故か。

あく

しようぜん

だいぜん

ふせ

たとい悪にあらざといえども、小善をもつて大善を防ぐ

いぎやくざい

す

いま

ちしや

まんぜん

すす

は五逆罪に過ぐるなり。今の智者、万善を勧めしむるより

いちだいいく

じ

れい

げどう

くじゆうごしゆ

は、一大悪を治するにしかず。例せば、外道の九十五種の

しよせん

と

じようらくがじよう

よじ

な

ぶつぽう

ごとし。その所詮を取るに常樂我淨の四字なり。名は仏法

の根本を得たるも、その義は即ち邪なり。仏世に出でて、
まずこの悪を治す。正法を説かんがために、苦・無常等の
四法を構えて彼の邪見を治す。

今の世間は弥陀の名号の権法をもつて円機を抑え、

円経に進まざらしむ。名号の権悪を治せんがために、

妙法蓮華経の美術を用いる。在世・滅後異なりといえど

も、正法を弘むるの心はこれ一なり。時に当たつて秘術を

得るか。